

# 高山市景観まちづくり刷新支援事業の成果

## 概要

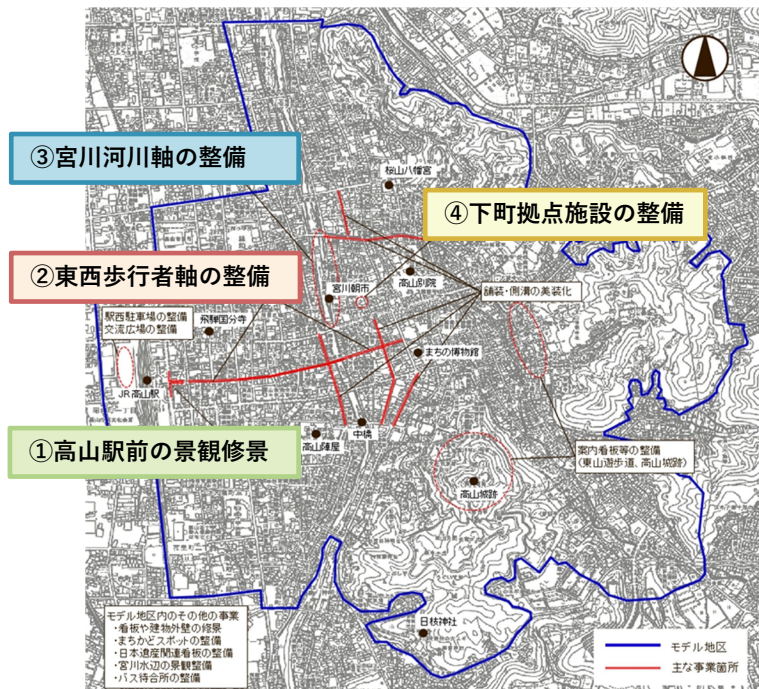
歴史的な町並、高山祭に代表される伝統行事、「飛騨の匠」の技巧、食文化など本物が体感できる観光地として、さらにまちなかの良好な景観を創出し、国内外からの集客、滞在時間の増加を図る。

## 目標

	基準値 (2014年度)	目標 (2024年度)	実績 (2024年度)
観光客入込客数	430万人	500万人	442万人
外国人宿泊者数	28万人	50万人	77万人

## 位置図

以下に示す景観まちづくり刷新モデル地区において事業を実施した。



## 主な事業箇所における景観の変化

### ①高山駅前の景観修景

看板改修、ベンチ更新・新設、道路工作物の修景等を行い、快適性の向上を図った。



### ②東西歩行者軸の整備

電線類の地中化等を実施し、歩行環境の向上と町並み景観の形成を図った。



### ③宮川河川軸の整備

人道橋の新設や景観に配慮した舗装整備等を行うとともに、町家を活用した飛騨高山にぎわい交流館「大政(だいまさ)」を整備した。



### ④下町拠点施設の整備

空家となっていた町家を活用し、市民の活動拠点となる高山市若者等活動事務所「村半(むらはん)」を整備した。

